

JICA海外協力隊 WEB説明会

教育篇②

青少年活動

子供と若者の
生きる力を支援するシゴト

- ① 青少年活動にはどんな要請があるか
- ② 要請選びのヒント
- ③ 合格者のプロフィール
- ④ 受検対策
- ⑤ 帰国後の進路
- ⑥ 質疑応答

青年海外協力隊事務局
課題業務・選考課
専任参事／技術顧問

村田 俊一

元青年海外協力隊員
スリランカ派遣
青少年活動

田村 美由紀

司会進行

村山 千代

1. 青少年活動には どんな要請が あるか

2017年度 70件の要請の内訳

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 困難を抱える青少年を支援する | 16件 |
| 2. 青少年の自主的な活動を支援する | 14件 |
| 3. 犯罪を犯した青少年の更生を支援する | 9件 |
| 4. 小中学校で英語を教える | 8件 |
| 5. 小中学校で総合的な支援をする | 8件 |
| 6. 就学前の子供たちの成長を支援する | 5件 |
| 7. 若者のキャリアを支援する | 5件 |
| 8. 難民の青少年を支援する | 5件 |

家庭内暴力、両親との死別、人身売買などにより生活の基盤を失ってしまった青少年が対象

【主な配属先】

- 人身取引被害者保護センター（タイ）
- NGO SOS子供の村（全世界）
- 孤児院、児童養護施設など

【主な活動内容】

- 傷ついた心と体のケア
- 基礎学力の向上支援
- 社会復帰のための職業支援
- 自立のための生活支援



公的な青少年センターや青少年が自ら組織する団体で彼らの独自の活動を支援する

【主な配属先】

- 子供文化センター（ラオス）
- 子供教育センター（キルギス）
- ボーイスカウト（ブラジル）
- 青少年センター（マダガスカル）

【主な活動内容】

- クラブ活動の顧問
- 野外体験学習
- ボランティア活動支援
- 社会貢献活動



犯罪を犯してしまった青少年、または犯罪を犯す恐れのある青少年に対して再犯防止と社会復帰を支援する

【主な配属先】

- 少年院、更生保護施設など（ケニア）
- 青少年自立支援施設（セントルシア）
- 少年院（ミャンマー）

【主な活動内容】

- 規則正しい生活指導
- 基礎学力の向上支援
- 社会貢献活動支援
- 社会復帰のための目標設定
- 職業支援



将来の進学や就職に有利な道具となる英語を楽しく覚えらるる環境を作る

【主な配属先】

- 小中学校（キルギス、ホンジュラス、ネパール）

【主な活動内容】

- 訳読式一辺倒の授業からの脱却
- 楽しく学べる教材の開発
- 現地校の教員養成
- 日本の子供たちとの文通



小中学校を巡回して、教科指導以外の総合的な支援活動を行う。保護者や地域に対する啓発活動も重要

【主な配属先】

- 小中学校（全世界）

【主な活動内容】

- 保健・衛生教育
- 社会貢献活動
- SNSの正しい使い方
- いじめや自殺の防止
- 保護者や地域に対する啓発活動



幼稚園や保育園が設置されていない農村部の子供たちに対して、小学校に上がる前に楽しく学べる機会提供

【主な配属先】

- コミュニティースクール（ガーナ）
- プレスクール（パプアニューギニア）

【主な活動内容】

- 遊びをとおした学習
- 就学前教育（数の概念、文字）
- 健康管理
- 保護者に対する啓発活動



これから社会に出ようとする若者や、自ら企業経営をしようとする若者に対してアイデアや助言を行う

【主な配属先】

- 青年会議所（トンガ）
- 国立職業訓練庁（コロンビア）
- 国立技術大学（エクアドル）

【主な活動内容】

- 起業支援
- 若者の生計向上
- リーダー育成
- チームビルディング



出口の見えない難民生活に希望を与え、とともに将来の社会復帰のために必要なことを支援する

【主な配属先】

- シリア難民キャンプ（ヨルダン）
- パレスティナ難民キャンプ（ヨルダン）
- ソマリア難民キャンプ（ジブチ）

【主な活動内容】

- 閉鎖空間のストレス軽減
- 健康管理、体力向上
- 生きがいの創出
- 基礎学力向上





インド洋に浮かぶ小さな島
面積：65,600km²
(北海道の約0.8倍)
人口：約2,103万人
(2016年)

ラージャンガナヤ村 青少年課

- 地域のユースクラブの発展と地域全体の青少年育成
- CBRを促進し、障害をもった人の社会参加を実現する

CBR/Community Based Rehabilitation



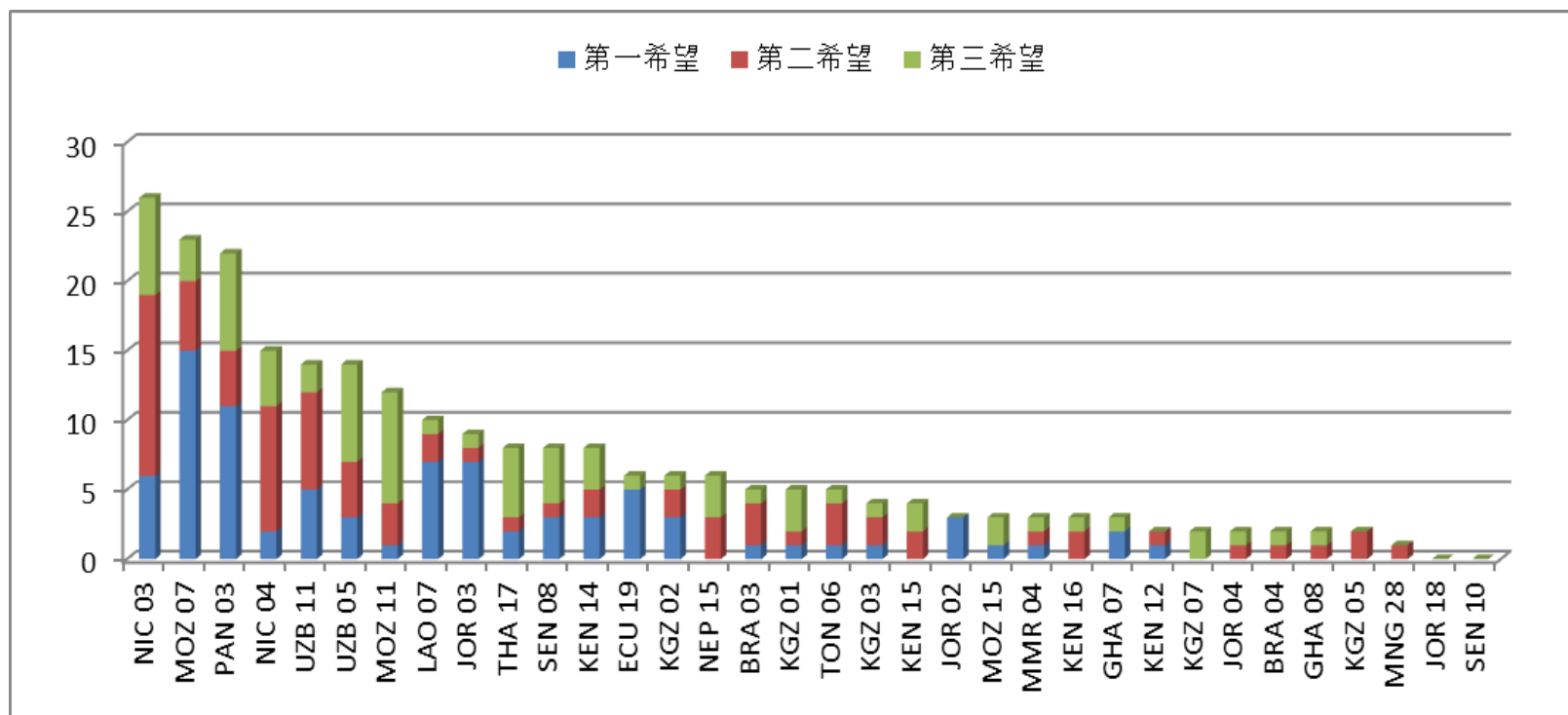




2. 要請選びのヒント

2017年度 秋募集 要請34件に対する 書類選考通過者85名（応募者は187名）の希望要請

応募者は応募用紙に第1希望から第3希望まで3つの
要請を書くことができます。





①意識

開発途上国の青少年を支援したいという強い共感と熱意を持っていること



②知識

子どもや若者の心理や特有の課題およびその対処法を熟知していること



③技術

子どもや若者のやる気を引き出し、目的達成に導く手法を有していること



④興味

自分の好みにかたよらず支援対象者が取り組む色々なことに興味を持てること



⑤資格

英語教育を除いて特別な資格は求められません。資格よりも経験がより重要です。

学校で何を学んだか	仕事で何をしてきたか	
資格 (取得見込含む)	免許 (取得見込含む)	特技
興味・関心	ボランティア	進路



過去の経験、持っている資格や免許、
スキル、興味、関心ごとを
振り返って、整理すること

実務経験がなくかつ自己学習が困難な下記の配属先に派遣される合格者の方には、語学訓練が始まるまえに半日程度の研修を受けてもらっています。

1. 困難を抱える青少年を支援する
→ 児童相談所や児童養護施設の参観
2. 青少年の自主的な活動を支援する
→ 青少年交流の家でのワークショップ
3. 犯罪を犯した青少年の更生を支援する
→ 少年院や少年鑑別所の参観
4. 難民の青少年を支援する
→ 難民支援のNPOなどでセミナー

3. 合格者のプロフィール

① 教員免許所持率 (%)

幼稚園	小学校	中・高校	その他	なし
5	2	41	1	49

② 応募時身分 (%)

大学生	会社・団体職員	教員	その他
18	54	23	5

③ 英語点数の分布率 (%)

A	B	C	D
32	21	18	29
21	17	21	40

* 下段は平均

④合格までの応募回数（％）

初めて	2回目	3回目	4回目
72	21	5	3

⑤合格した要請は第○希望だった（％）

第一希望	第二希望	第三希望	希望外
54	25	15	6

⑥合格者の男女比（％）

女性	男性
65	35

4. 受験対策

1 自分の**経験**が活かせる職種を選ぶ

やって**みたい**シゴトではなく、やった**ことがある**シゴト

2 自分をもっと**貢献**できる要請をアピール

要請内容をよく読んで**応募用紙**と**面接**でアピール

3 快眠、快食、運動で**健康管理**

毎日の生活の中で**改善できる**ことをやろう

4 選ぶ側の心理を操る

文章、服装、表情、言葉遣いを**得点**に変える

5. 帰国後の進路

【現在の仕事内容】

- 日本に逃れてきた難民に対し、来日直後から自立に繋がるまで法的・生活支援の提供

【JICAボランティアの経験が今の仕事に活かされている点】

- 難民排出国の多くが発展途上国であり、貧困、汚職、人権侵害など様々な問題を抱えている。途上国でのボランティア経験はそのような問題を理解する際に役立っている。
- 派遣国のスリランカは、長年紛争を経験している。紛争が起きる背景やその後の市民への影響を目の当たりにした経験は、現在の仕事に活かされている。

6. 質疑応答

8月9日(木)、21:00～

教育篇③

**幼児教育・小学校教育
理科教育・数学教育
音楽・美術**

**教育現場で教科指導中心の
活動をしたい方、必見**

- ▶ 全国説明会キャラバン
- ▶ WEB説明会
(インターネット配信によるオンライン説明会)
- ▶ OB/OGのビデオ相談
(青年海外協力隊経験者とのビデオチャット)
- ▶ お気軽質問窓口 (WEB上の質問箱)

JICAボランティアの詳細な情報は

JICAボランティア

検索

